



オーストラリアの 高齢者向けCOVID-19対策

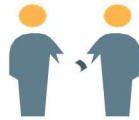
コロナ禍における高齢者を保護するためのオーストラリアの取り組みは、遠隔サービス、訪問プログラム、保健医療情報の提供、直接の財政支援を通じて、居宅高齢者や高齢者介護施設入居者の安全をより一層確保するというものである。

高齢者介護施設



80歳以上の高齢者の20%、65～80歳の高齢者の6%が高齢者介護施設に入居。

訪問者を制限



政府は、高齢者介護施設入居者の訪問者を入居者1人当たり1日2人に制限するガイダンスを定めた。

新型コロナ対応専用 電話



高齢者が情報を入手でき、また人と交流できる新型コロナ対応専用電話回線が開設された。

高齢者向け特別 サービス



高齢者は、優先的に食事や食料品、医薬品の宅配を受けることができる。

高齢者介護施設に PPEを優先して供給



高齢者介護施設は、特別手続きにより政府に個人用保護具（PPE）を要求できる。

遠隔医療サービス



70歳以上の高齢者または免疫不全患者は、遠隔医療サービスの利用が奨励される。

ワクチンの優先接種



高齢者及び高齢者ケア従事者は、ワクチン接種が可能となった際、優先接種対象者となる見込みである。

経済支援



高齢者は景気刺激策としての直接給付金の受給資格があり、一部高齢者は失業給付金の受給資格も得た。